

maker's interview

照明デザイナー＆メーカーに聞く

理想的な 特注照明の つくりかた

空間デザイナーが思い描く特注照明を具現化するには、照明デザイナーやメーカーの存在が欠かせない。彼らは、空間に込められた意図を知り、実現可能な形状および制作方法を探っていく。そして、実際に制作する職人ともやりとりを重ね、更なる表現の可能性を探っていく。ここでは、特注照明の制作過程について、三つのケースを紹介。いかにして空間デザイナーのイメージに近い、時にはイメージを越えていくような特注照明が生まれるのかを探る。



「ニールン・ベツ ガラス美術研究所」の工房にて、中屋恵美さんとカスタムトスケヒロさん（撮影／編集部）

case 1

アーティストと紡ぎ出す、 特注照明の新たな可能性

「PANORAMA NISEKO」（設計／ISA Architects）のペンダント照明を例に、中屋恵美さん（iris）に聞く

取材・文／加藤 純



北海道・ニセコの温泉付き貸別荘「PANORAMA NISEKO」（0136-55-6605）のダイニングルームを開口部方向に見る。ニセコの透明感や空気感を表現することを意図して、ガラス製とした（写真提供：ニセコリアルエステート）